

建設システム工学科略史 1

1. 学科の沿革

- 1990(平成 2)
- 4. 1 室蘭工業大学工学部改組再編および大学院博士課程設置。
建設システム工学科（学生定員 110 名，内臨時増募 10 名）。
大学院前期課程建設システム工学専攻（学生定員 17 名）。
大学院後期課程建設工学専攻（学生定員 4 名）。
 - 4. 1 臨時増募に伴う教官枠 2 名増（教授 1，助教授 1）。
 - 4. 12 建設システム工学科第 1 期生 111 名入学。
 - 4. 12 博士前期課程第 1 期生 14 名入学。
 - 4. 25 博士後期課程第 1 期生 6 名入学。
- 1991(平成 3)
- 7. 1 学位名称の変更（例：工学博士 → 博士（工学））。
- 1992(平成 4)
- 3. 23 博士前期課程第 1 期生 14 名修了。
 - 4. 1 編入学・転入学の入学年次を 3 年次へ変更。
 - 4. 初 コース分属を 2 年次前期から開始（平成 3 年度入学生）。
 - 5. 1 全ての土曜日が週休となる。
- 1993(平成 5)
- 3. 23 博士後期課程第 1 期生 4 名修了。
 - 4. 1 専門教育を主専門教育課程に改正。
6. 「賠償責任保険・施設所有者管理者特約保険」の契約。
- 1994(平成 6)
- 3. 平成 6 年度入試から分離分割方式を採用（配分：前期 35 名，後期 75 名）。
 - 3. 24 建設システム工学科第 1 期生 102 名卒業。
 - 3. 24 最初の論文博士の誕生。
 - 4. 1 編入学学生定員化（定員 5 名）。
- 1995(平成 7)
- 4. 1 博士前期課程学生定員 5 名増（22 名）。
5. 学科のホームページの作成。
 - 5. 29 大学より「海洋工学講座」の増設について問われる。
 - 6. 末 学科紹介パンフレット作成。
 - 11. 11 体験学習「すまいと工学」の実施。
- 1996(平成 8)
- 2. 平成 9 年度概算要求「建設環境工学科&建築都市学科」資料を学長へ提出。
 - 11. 28 「学生によるコンクリート圧縮コンテスト（大成建設主催）」準優勝。
- 1997(平成 9)
- 4. 1 学生定員 5 名減（学生定員 105 名，入試配分：前期 30 名，後期 75 名）。
 - 4. 1 学生臨時増募に伴う教官枠 1 名（助教授 1 名）減。
 - 4. 11 「平成 10 年度学生募集要項」の変更要請（履修コースを明記する）。
 - 12 平成 10 年度概算要求に「夜間主コースの設置」を提出。
- 1998(平成 10)
- 3. 平成 10 年度入試から推薦入学を導入（配分：前期 30 名，後期 69 名，推薦 6 名）。
 - 4. 1 技官枠 1 名減（情報メディア教育センターへ配置換）。
 - 4. 1 編入学学生定員 2 名増（定員 7 名）。
 - 4. 1 新教育課程の実施。

- 4. 1 博士前期課程学生定員 11 名増 (33 名)。
- 7. 21 公開講座「白鳥大橋を生かした街づくり・地域づくり」の実施。
- 9. 平成 11 年度博士前期課程入試に推薦入学を導入 (配分：推薦 5 名，一般 28 名)。
- 9. 末 コース分属を 1 年次後期から開始 (平成 10 年度入学生)。
- 10. 1 完全ダイヤルイン化に伴う電話番号の変更。
- 12 平成 12 年度概算要求に「夜間大学院の設置」を提出。
- 1999(平成 11) 3. 平成 11 年度入試から推薦 II を導入 (配分：前期 30 名，後期 62 名，推薦 I6 名，推薦 II2 名)。
- 4. 1 学生定員 5 名減 (学生定員 100 名)。
- 4. 1 学生臨時増募に伴う教官枠 1 名 (教授 1 名) 減。
- 6. 学科のホームページの充実。
- 9. 平成 12 年度入試博士前期課程入試推薦入学枠の変更 (配分：推薦 6 名，一般 27 名)。
- 2000(平成 12) 3. 平成 12 年度入試から配分変更 (前期 35 名，後期 53 名，推薦 I10 名，推薦 II2 名)。
- 4. 1 学外実習 (インターンシップ) 実施のための科目設定 (3 年次)。
- 2001(平成 13) 3. 平成 13 年度入試から配分変更 (前期 44 名，後期 44 名，推薦 I10 名，推薦 II2 名)。
- 2002(平成 14) 3. 平成 14 年度入試から配分変更 (前期 60 名，後期 28 名，推薦 A10 名，推薦 B2 名)。
- 3. 個別学力試験を前期試験へ変更 (数学に新たに物理を加える)。
- 4. 1 土木コースが日本技術者教育認定機構 (J A B E E) 対応カリキュラムの実施。
- 4. 定員削減 (技官枠 1 名減)。
- 8. 学科のホームページをリニューアル。
- 2003(平成 15) 3. 総合研究棟へ建築の計画系 5 研究室異動 (大坂谷，黒澤，鎌田，真境名，山田)。
- 6. 編入学試験を推薦選抜と学力選抜へ変更 (配分：推薦 7 名，学力若干名)。
- 2004(平成 16) 4. 1 国立大学法人化。
- 10. 土木コースが日本技術者教育認定機構 (J A B E E) の審査受審。
- 2005(平成 17) 1. 平成 17 年度入試から大学入試センター試験の科目数を 5 教科 7 科目へ変更。
- 3. 学長枠教員の採用に伴う学内定員振替のため学科教員枠 2 名 (教授 1，助教授 1) 減。
- 4. 1 建築コースが日本技術者教育認定機構 (J A B E E) 対応カリキュラムの実施。
- 2006(平成 18) 10. 学科のホームページをリニューアル。
- 2007(平成 19) 3. 平成 19 年度入試の配分変更 (前期 70 名，後期 18 名，推薦 A10 名，推薦 B2 名)。
- 4. 1 教員職名変更 (教授，助教授→准教授，講師，助手→助教・助手)
- 2008(平成 20) 3. 平成 20 年度入試の配分変更 (前期 65 名，後期 18 名，推薦 A15 名，推薦 B2 名)
- 4. 1 博士前期課程に公共システム工学専攻設置 (土木系教員の一部，所属移行)
- 4. 1 博士前期課程学生定員 6 名減 (27 名)。
- 4. 1 准教授の博士後期課程学生の主指導・主査が可能となる。
- 4. 1 助教の博士前期課程学生の副指導が可能となる。
- 12. 7-9 建築コースが日本技術者教育認定機構 (J A B E E) の審査受審。

2009(平成 21) 6.9 建築コースが日本技術者教育認定機構（J A B E E）に認定される（H21.3 卒業生から JABEE 認定プログラム修了生）。